

## 第78回 理事会（平成15年度第8回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成16年5月7日（金）19：00～20：40
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館 2階第2研修室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）廣瀬 稔、古郡 敬一、野地 澄雄  
（専務理事）山田 隆  
（常務理事）片 忠夫、渡辺 三郎、菊地 富士夫、越前谷 芳隆  
（理事）早川 博基、柴田 秀一、上田 英之、百海 廷、本田 衛義、  
徳本 進、長久保 巖、斎藤 幸雄、岡本 洋一、清水 忠、  
木村 徳善、菊地 勇二、栗田 謙悟、平沢 幸一  
欠席理事：（会長）河野 洋平  
（理事）早川 博基、本宮 敏宏、堀 祐樹
4. 出席監事： 井駒 利一  
欠席監事： 徳田 盾夫
5. 議長選出： 山田 隆専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 木村 徳善理事、斎藤 幸雄理事を選出
7. 書記： 川上 修広報委員を指名
8. 議 事

山田隆専務理事より、本日は来期の理事・幹事4名がオブザーバーとして出席しています。来期のことについての意見等の発言は認めますとの説明があった。

### 1) 競技本部関係

#### (1) 報告事項

- ① 平沢理事より、別紙の通り下記行事についての報告がなされ、了承された。

##### イ) アルペン委員会

- ・チャレンジカップ第3戦野辺山大会 4月2日（金）～4月3日（土）
- ・第1回トーエルカップ 4月4日（日）  
役員13名 選手639名
- ・春季ジュニアアルペン総合合宿 4月26日（月）～5月2日（日）  
(秋田県・八幡平スキー場)  
役員 3名 参加選手33名（指定選手6名）

##### ロ) ノルディック委員会

- ・歩くスキー 4月3日（土）～4日（日）（妙高高原スキー場）  
役員9名 参加者 33名

#### ② その他

平沢理事より、次年度行事にFISスノーボードクロス大会が入っているが、11月までにスポンサーが付かないとキャンセルする方向で予算を作成してありますとの報告がなされ、了承された。

#### (2) 審議事項

##### ① アルペン・SAKマスターズ競技者管理登録有料化について

平沢理事より、SAKマスターズ登録の有料化について、登録資格は35才以上で、一般は1000円、マスターズに登録する方は500円で合せて35才以上の方は1500円となる。登録料500円でマスターズ競技者管理登録を設定したいとの提案がなされ、承認された。山田専務理事より、競技者管理登録の70%が35才以上なら、そちらを軸にしたポイント管理をすべきであり、競技本部の今後の課題として検討・取り組み要望があり、片常務理事からは昨年マスターズの枠組を作り、今年から登録料500円で運営していく事を踏まえて競技運営を考えてほしいとの要望があった。

## 2) 教育本部関係

### (1) 報告事項

- ① 渡辺教育本部長より、別紙の通り下記行事に関する報告がなされ、了承された。

イ) S A J デモンストレーター認定者

佐藤 拓也 (平塚スキークラブ)

ロ) 第 2 回拡大教育本部会開催 (予定)

日時: H16 年 5 月 22 日 (土) 15:00~

会場: 神奈川県社会福祉会館

### (2) 審議事項

- ① 日赤救急員養成講習会開催について

渡辺教育本部長より、日赤救急員の養成講習会は例年 9 月に開催していたが、今年は会場が取れず、早めに下記の日程で行なうことになったとの提案があった。

日時: H16 年 7 月 3 (土)、4 日 (日) 及び 10 日 (土)、11 日 (日)

場所: 神奈川日赤支部

山田隆専務理事より、S A K にとって必要な行事なのか。公認パトロールを取得するには必要はなく、何故 S A K がやらなければいけないのか、教育本部として早急に精査してくださいとの要望が出され、渡辺本部長が確認し必要可否を判断することにした。

## 3) 総務本部関係

### (1) 報告事項

- ① 慶弔関係について

片常務理事より、信州総合開発観光 (株) の宮下取締役の御尊父がご逝去され、慶弔規程では原則対象にならないが、専務理事判断で弔電と花輪を出したとの報告がなされ、了承された。

また千葉県スキー連盟の金井英一郎氏のご逝去され、これも原則対象にならないが、弔電・花輪を出して、香典 (1 万円) を山田専務理事が持って明日 (8 日) 焼香に行くことになったとの報告がなされ、了承された。

- ② 登録状況について

柴田理事より、前回の理事会以降変更なしとの報告がなされ、了承された。

- ③ 会計状況について

上田理事より、4 月末の運用金残高が 905 万 9098 円で、昨年同時期と比べて約 150 万の差があるが、これはジャーナルへの支払いが 3 月に済である事。あと指導員会から事務所使用料が入ってくることを加味すると前年より若干プラスであるとの報告がなされ、了承された。さらに各理事へのお願いとして、5 月末日で年度締めなので、委員会・行事等の清算は早めにまた高額な支出は相談してくださいとの要望があった。

- ④ H/C 委員会

越前谷事務局長より、今年度の行事は終了した。スポーツ振興くじ (toto) 助成金は 60 万確定した。残りの 10 万の支払い請求はこれからである。次年度は toto の助成金制度がなくなるため、ヤマトの障害者基金を 50 万申請及び県体協の夢国体振興事業助成金を 30 万申請したが、審議は 6 月に行なわれる予定との報告がなされ、了承された。

- ⑤ 広報委員会

徳本理事より、広報委員会にて「SAK だより第 47 号」を編集集中で、本日最終校正をしており、皆さんには只今回覧しておりますので確認願いますとの報告がなされ、了承された。

### (2) 審議事項

- ① 第 1 号議案 次期役員会長推薦理事承認について

片常務理事より、来期の役員体制ですが、別紙のとおり役選 (委) から答申して頂いたが、それに加えて会長推薦理事 4 名を常務理事会で決めさせていただいた。総務本部の岡本理事、教育本部は菊地理事、清水理事、競技本部斎藤理事に入ってもらった。理事 25 名、幹事 2 名の 27 名体制でいきたい。

評議員会の議案では理事で提案して承認を得た後理事会を開催して、会長・副会長・専務理事以下を決めて、再度承認を頂くステップを踏みますが、本資料の扱いを宜しくお願いします。今回

は27名の理事・幹事の提案がなされ、承認された。

② 第2号議案 平成16年度（S A J 17年度）執行方針について

片常務理事より、各本部毎に作成いただいたが、基本的には今までの流れを100%踏襲していきたいと思っている。そのなかで、あらたに色々なものを加えたりしましたが、全体のなかでは参加人員が減少してきて登録人員的には多少歯止めが掛るかなと思われる。その中で緊縮財政を組んでいただいた。このあと総務・教育・競技の各本部長より執行方針の説明が行なわれ、承認された。

③ 第3号議案 平成16年度（S A J 17年度）事業計画について

片常務理事から、スノーボードは総務本部にスノーボード総括(委)をおいて、資格付与・級別テストは教育本部とし、大会運営は競技本部に振り分ける。このあと総務・教育・競技の各本部長より事業計画の説明が行なわれ、承認された。

④ 第4号議案 平成16年度（S A J 17年度）予算について

上田理事から、平成16年度の予算について、今回は緊縮予算を提出していただいた結果、収支が合いました。これも各理事の努力に感謝しておりますとのお礼の言葉があり、このあと費目毎の説明がなされ、承認された。

⑤ 第5号議案 評議員の変更について

越前谷事務局長から、評議員変更の説明がなされ、承認された。

足柄スキー協会

前 任 遠藤 功

新 任 窪田 篤

相模原市スキー協会

前 任 木村 信吉

新 任 工藤 護

4) その他

① S A J 派遣役員について

片常務理事より、次期のS A J 派遣役員を決めなければならない。現在、神奈川県からは佐々木峻氏がS A J 理事ですが、どうするかということを審議して頂きたい。佐々木氏は6期12年の長期就任となっており、一昨年の理事会でも長期選任は好ましくないと言ったが、一期に限り推薦している。山田専務理事から、本人の意志を確認した所もう一期トリノオリンピックまでやりたいとのこと、S A J のスノーボードの現状を考慮するともう一期推薦せざるを得ないかと思えますとの報告あり。7期14年は異例の長さであり好ましくない意見が多いことから、次期に限って推薦すること、これが最後であることを議事録に残すことで承認された。

② 評議員会日程について

本田理事より、春季評議員会は5月29日（土）県民センターで行ないます。本配布しました「評議員会進行スケジュール」に基き、進めます。集合は9時、受付は9時30分からとの報告あり、了承された。

③ 理事の就任について

越前谷事務局長より、今までは役員交替は7月だったが、今度の評議員会で役員が替わります。教育庁の指導で会計年度と合せることになるので、あらたに登記を6月1日付けで行なうことになる。実際には7月に交替していた理事は一旦辞めていただく。皆さんから預っている辞任届を使って、辞任の手続きをすることの承認をお願いします。

お手元に配布した就任承諾書・辞任届・履歴書・個人データは、抜けのないように記入してください。就任承諾書と辞任届には日付を入れないこと、住所は住民票に記載されているものと同じ書き方をして下さい。必ず自筆で書いて捺印してください。評議員会までに提出してくださいとの説明があり、辞任届けの手続きをすることは承認された。

④ 井駒監事からコメント

競技本部行事計画の中で、県総体の各市協会の予選会の開催ができるか否かが感じられますので、そのことについて市協対応をよく考慮してくださいとの要望があり、山田専務理事より競技本部で検討しておくことの指示があった。

⑤ 山田専務理事の退任コメント

財団法人の理事は、会社で言えば取締役でここでは対等の責任を以って参加しています。全てのことに理解していただいて、会員の皆様に密度の濃いサービスをしてやっていただければと思

います。理事会では理解出来るまで徹底的に意見交換することが大切であります。次期から、私は副会長となるので、発言を控えるようにしたいと思います。

⑥ 廣瀬副会長の退任コメント

3期6年間皆さんと一緒にSAKに席をおいたが、株式会社なら債務超過で倒産していると思います。皆がボランティアでやっているからだろうと思うし、会長に代わり努力に感謝申し上げます。SAKは何をすべきか基本的に考えておかねばいけない。会員サービスとは何か。何が会員に満足を与えることが出来るか考えるべきであります。

SAKは神奈川県のスキーを統括する競技団体であるとの認識が必要である。もう1つは普及活動を重点に考えて、質の高い事業をぜひやってほしいと思います。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成16年 5月 21日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印